

義

里見八犬伝ロマン紀行(里山コース)

房総里見氏や南総里見八犬伝ゆかりの神社・ゆかりの地をめぐる歴史散策コースです。里見氏の残した足跡や八犬伝の物語の舞台になった場所を巡ると、史実と幻想が織りまざる不思議な気持ちにさせられます。

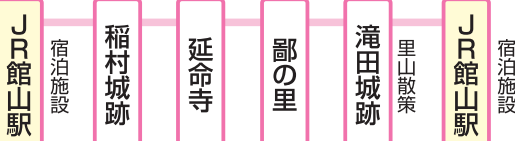


大川荘助義任
いぬがわそうすけ よしとむ

2時間コース



3時間コース



4時間コース



稲村城跡(いなむらじょうし)

稲村城は、前期里見氏(義通・義豊)の居城でありました。東西2km、南北1.52kmにわたる大規模な範囲の城。天文二年(1533)義通以来の安房国統治のパートナー正木通綱が義豊によってここ稲村城で殺害され、同時に里見実堯も殺害されたという「天文の内乱」の舞台になった場所です。今なお、横穴墓、水神森、五輪様など、中世の頃、そのままの遺跡が数多く残る貴重な歴史スポットです。



犬掛古戦場(いぬがけこせんじょう)

里見実堯(四代)、義豊(五代)、義堯(六代)が骨肉の争いを演じた古戦場です。



延命寺(えんめいじ)

稲村城の北にあり、長谷寺と号し、関宿・東昌寺末の曹洞宗の寺。実堯以後の後期里見氏歴代の菩提寺になっています。物語の「南総里見八犬伝」では、大法師が住職し、里見家の破れた武将達が供養された寺です。



滝田城跡(たきたじょうし)

八犬伝では里見義実の本城。玉梓の怨念が里見家に祟ることとなった物語の序章の舞台。城跡にある展望台の脇には伏姫と八房のプロンズ像があります。



伏姫籠穴(ふせひめろうけつ)

「南総里見八犬伝」の物語のなかで伏姫が八房と暮らしたとされる洞窟。命を絶った伏姫がここに眠ると言われ、中には八つの玉が置かれ、登り口には八房を埋めたという犬塚の石碑があります。



道の駅「鄙の里」(ひなのさと)

とれたての野菜がズラリと並び農産物直売所「土のめぐみ館」とレストランやお土産品が揃う「交流センター」鄙の里は、郷土の魅力が集う道の駅。

●☎0470-36-4116



道の駅「富楽里」(ふらり)

館山自動車道の乗り入れが可能な道の駅。富山地区の海と山の新鮮な食材が並び直売所が人気。本格派海鮮レストランなど、軽食コーナーも充実し、南房総の味が満喫できます。

●時間:9時~18時/食事:7:30~20:00

☎0470-57-2601